

青柏祭における都市空間の使われ方と住民の許容意識 その2 ヒアリング調査による使われ方と許容意識の把握

正会員 ○谷内遥香* 正会員 北島陽貴***
同 藪谷祐介** 同 北野まつ葉****
同 有原千尋***

祭礼 曳山祭 入り込み
私有地 軒下 七尾市

1 はじめに

1-1 研究の背景と目的

本研究は、青柏祭・曳山曳行における観客・曳き手・曳山関係者（以下、参加者）の都市空間の使いこなしの実態、さらに参加者の私有地への入り込みとそれを許容する住民の意識（許容意識）を明らかにすることを目的としている。

本研究は2編で構成される。前編（その1）では写真調査から曳山曳行時の参加者による都市空間の使われ方の実態を明らかにした。本編では、ヒアリング調査によって曳山曳行時の参加者の私有地への入り込みとそれに対する住民の思い、青柏祭に対する思いを把握することによって、住民の許容意識を明らかにすることを目的とする。

1-2 研究方法

本研究では、鍛冶町と塗師町のでか山の運行経路に面する住宅に居住する住民を対象にヒアリング調査を行った。これらを対象にした理由は、道幅が狭く曲がり角があり、曳山曳行時に参加者の私有地への入り込みを誘発する要素を有しているからである。ヒアリング調査は、2021年6月26日と同年7月9日の2日間で各住宅に直接訪問し、協力いただいた方のみを実施した。加えて、屋外で出会った住民からも回答を得た。その結果、計11組14人にヒアリング調査を実施できた。

ヒアリング調査の目的は、①青柏祭時の私有地の使われ方の把握と、②参加者の私有地への入り込みや青柏祭に対する住民の意識を明らかにすることである。表1の3つの質問項目を用意し、半構造化形式のヒアリング調査を行った。

2 住民ヒアリング調査の結果

2-1 回答者の属性

回答者の属性について表2にまとめた。性別は女性が10人、男性が4人である。年齢は70代以上が約5割を占め、高齢者が多い結果となった。職業は、主婦・無職が8人と多く、高齢者が多いことが関係していると考えられる。出身は七尾市内が11人、七尾市外が3人である。七尾で

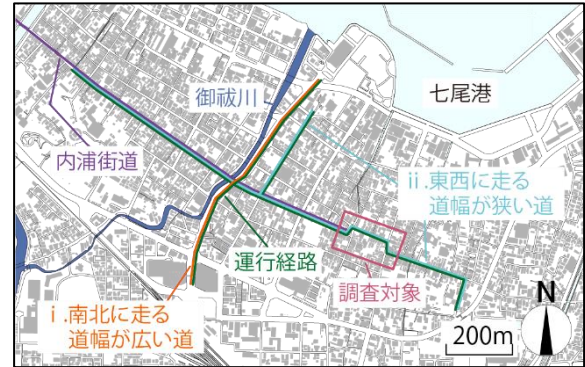


図1 調査対象範囲^{注1)}

表1 調査概要

調査日時	2021年6月26日と同年7月9日の2日間
調査方法	半構造化形式のヒアリング
対象者	でか山の運行経路にある鍛冶町と塗師町の一部の住民
質問項目	①属性（性別、年代、職業、居住年数など） ②青柏祭の曳山曳行時における空間の使われ方とその思い ③青柏祭に対する思い

表2 属性

属性		n (人)	%
性別	女性	10	71.4
	男性	4	28.6
年齢	50代	2	14.3
	60代	1	7.1
	70代	5	35.7
	80代	2	14.3
	90代	1	7.1
	不明	3	21.4
職業	主婦・無職	8	57.1
	自営業	3	21.4
	会社員	1	7.1
	パート	1	7.1
	不明	1	7.1
出身	七尾市内	11	78.6
	七尾市外	3	21.4
七尾での居住年数	20~30年	1	7.1
	30~40年	1	7.1
	50~60年	4	28.6
	60~70年	2	14.3
	70~80年	2	14.3
	80~90年	1	7.1
建物の建築年数	不明	3	21.4
	10~20年	1	7.1
	20~30年	1	7.1
	50~60年	7	50.0
	60~70年	1	7.1
	80~90年	2	14.3
	100年以上	1	7.1
青柏祭の関係者	あり	3	21.4
	なし	11	78.6

の居住年数は50年以上が約6割で全体的に居住年数は長い。建物の建築年数は10~20年が1人、20~30年が1人、50~60年が7人、60~70年が2人、80~90年が2人、100年以上が1人である。1970年代に建てられた建物が半分を占めた。青柏祭の関係者については、経験ありが3人、

なしが 11 人で、約 8 割の回答者が青柏祭の関係者の経験がない。これは鍛冶町のでか山組織は男性のみで構成されており、回答者のうち約 7 割が女性であることに関係があると考えられる。また、経験ありと回答した人は、鍛冶町のでか山組織の会計や世話人として青柏祭に関わっていたことが分かった。

2-2 青柏祭時の都市空間の使われ方

ヒアリング調査の際にレコーディングしたものを文字起こし、発言をまとまりごとにわけ、抽象化を行いコード化した。類似したコードごとに分類し、最終的に発言を、内容、サブカテゴリー、カテゴリーにまとめた。

青柏祭時の都市空間の使われ方(表 3)として、住民は自宅の 2 階窓、バルコニーなどの高いところから、一方で、一般の観客は軒下や空き地、セットバック部分など私有地に入り込んででか山を見ていることがわかった。これは前編の写真調査から得られた結果と同様であり、住民が一般の観客が私有地に入り込んでいることを認識していることが確認できた。また、その際に椅子やトイレを一般の観客に貸している人もみられた。

でか山の見せ場としては、でか山が直角に回る曲がり角や、巨大なでか山に対して 2 階建ての住宅が多く建ち並ぶ狭い直線の道、でか山が 3 台集合する広い空間が挙げられた。でか山が曳行することは当然のことで特に青柏祭で気を付けていることはないと言った人が多く、その次に前面道路に出している植木鉢を自宅に片付けるなど、でか山曳行の際に危険が及ばないように配慮していることが挙げられた。

2-3 青柏祭に対する思い

青柏祭に対する思い(表 4)について、でか山が好きでこの町に生まれてよかったといったでか山に対してポジティブな思いを持つ人が多かった。また、でか山を楽しんでもらいたいなどの意識から、参加者の私有地への入り込みに対して許容的な人が多かった。毎年のようにでか山が角を曲がる際に自宅の蔵の瓦が落ちて損傷すると述べた方は、山町^{注 2)}が修理を取り持つので気にしたことがないと述べていた。でか山曳行中は危ないので、けがが出ないようにと願う人や悪天候にならないように願う人も多く、青柏祭の成功を願っている住民が多くいることが確認できた。また、青柏祭は歴史が長く、伝統がある祭りだと述べる人もいた。反対に迷惑な行為として、でか山曳行の際の休憩中に飲酒した関係者による敷地内でのトイレが困るという意見が見られた。また、山町への寄付もその町に住んでいるのなら当然のことだと思いつつも大変なことだというポジティブにもネガティブにもとれる意見があった。

3 考察

住民は、青柏祭・でか山に対してポジティブな思いを持っており、青柏祭・でか山に対して誇りや愛着を感じていると考えられる。住民は参加者にトイレを貸すなど、青柏祭にまつわることは比較的寛容であり、でか山を楽しんでもらうためなら、参加者の敷地内への入り込みに対しても許容的であることが確認できた。

青柏祭・でか山は歴史が長く伝統があり、住民にとって祭りが開催されることは当然のことと考えられているが、以上のように住民の青柏祭・でか山が誇り、好きだという気持ちと、住民だけではなく参加者にも青柏祭を楽しんでほしいという思いが、私有地への入り込みに対する許容意識につながっていると考えられる。

注

注 1) 国土地理院地図を基に筆者作成

注 2) 各町のでか山保存会(でか山委員会)。各町のでか山組織。

表 3 青柏祭時の都市空間の使われ方

カテゴリー	サブカテゴリー	内容
でか山の見方(20)	住民の見方(10)	・自宅の2階からでか山を見ると歌舞伎人形が見える ・地上からでか山を見る
	私有地に入り込んでいる見方(8)	・観客が軒下、空き地、セットバック部分に入り込んででか山を見る
	施設内の開放、トイレの貸し出し(2)	・以前はトイレを貸すこともあった
人形番(2)	人形番(2)	・本祭の前日、歌舞伎人形を自宅を豪華に飾って展示する ・人形番は名着などで誇り
見せ場(7)	曲がり角(4)	・曲がり角で90度でか山が回る迂回しは迫力があり祭の見せ場である ・毎年テレビ局がその場面を撮りに来る
	狭い直線の道(2)	・狭い直線の道のためでか山が曳行する姿は良い
	広い空間(1)	・でか山が3台集合する姿は圧巻である
青柏祭で気を付けていること(11)	ない(8)	・でか山が通ることは当然のことなので特にない
	植木鉢の片付け(3)	・通り出している植木鉢を片付ける

() 内は、回答数を表す

表 4 青柏祭に対する思い

カテゴリー	サブカテゴリー	内容
でか山に対する思い、考え(40)	入り込みに対する許容(7)	・でか山を楽しんでいるのだから気にしない ・でか山を見るために観客が入り込むことは当然
	でか山の当然さ(3)	・ここに住んでいるのならでか山が通ることは当然のことである
	ポジティブな思い(10)	・でか山が好きでこの町に生まれてよかった ・運行経路沿いに家があつてうれしい
	ポジティブな思いとネガティブな思い(2)	・寄付など困っていると同時に仕方ない、当然のことだという気持ちもある
	迷惑な行為(1)	・敷地内にトイレをされるのが困る
	でか山による損壊の許容(3)	・瓦が落ちて修理は山町が取り持つしてくれるし気にしたことはない ・でか山がぶつかるとはいいこと
	でか山ができない(7)	・2年連続できなくて寂しい ・来年こそはでか山ができるように願う
でか山を見に来る人たち(4)	事故が起きないように願う(2)	・でか山曳行中は危ない一面もあるので怪我がないように願っている
	天気が良いように願う(5)	・悪天候にならないように願っている
	息子の友達(1)	・市外の人から2階からでか山をみて楽しんでいった
	親戚や市外に出た友達や知人(2)	・祭の日に久しぶりに会えることがうれしい
	観光客の今と昔(1)	・観光客の人数が以前より少なくなったように思う
性別に関する意識(6)	男の祭り(4)	・青柏祭は男の祭りである
	女性の会(2)	・最近では公式に女性の会もできた
昔の思い出(8)	でか山を曳く(6)	・小さいころや今もでか山を曳く ・子どもと一緒に曳く
	でか山に登る(2)	・小さいころはでか山に登っていた ・子どもがでか山に登る
	伝統・歴史(3)	伝統的祭り(3)

() 内は、回答数を表す

*株式会社トミソー

**富山大学学術研究部芸術文化学系 講師・博士(デザイン学)

***富山大学大学院芸術文化学研究科大学院生

****グリーンノートレーベル株式会社

* Tomiso Corporation

** Lecturer., Faculty of Art and Design, Univ. of Toyama, Doctor of Design

***Students, Graduate School of Art and Design, Univ. of Toyama

****Green Note Label Inc